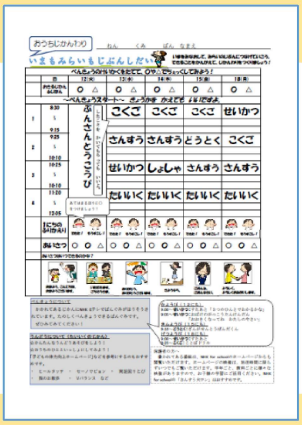
学校通信

天王丘XI

令和２年５月19日(火)
第　５　号
観音寺市立柞田小学校
発　行

臨時休校期間中の生活について



分散登校へのご協力ありがとうございます。来週からは授業を実施します。６年生は毎日ですが、ほかの学年は週２回の登校で、学年によって登校日が異なりますので、ご注意ください。

さて、学校再開に向けて児童の生活リズムを整えるため、柞田小学校オリジナルの「おうちじかんわり」を学年団ごとに作成し、先週の分散登校日から配付しています。今週の分は本日配付しました。

１日の生活を、自分で評価するようになっていますので、子どもといっしょに振り返っていただければ幸いです。

柞田小学校の校章について

前回は校歌を話題に取り上げました。今回は校章を取り上げます。ご存知のとおり、校章とは、その学校を象徴するためにデザインされた紋章のことで、その学校への所属を表したり、他校と識別したりするために用いられるものです。

さて、柞田小学校の校章ですが、平成４年３月に発行された創立百周年記念誌「天王丘」に、次のような記載があります。

昭和四十年、柞田の地名に関係のある櫟（くぬぎ）の葉を三枚並べて、柞田・道生・成立の三つの学校が一つになって柞田小学校が生まれたことを表し、中に観音寺市を表す銭形と柞小の文字を入れて校章が作られた。

校旗

校歌ができたのが昭和30年（1955年）なので、それより遅れること10年、昭和40年（1965年）に校章ができたことになります。学校の歴史をみると、明治時代、確かにこの地に３つの小学校があり、明治７年に道生小学校が、明治25年に成立小学校が柞田小学校といっしょになっています。

カブトムシやクワガタなどの昆虫に興味がある人はピンとくると思いますが、櫟（くぬぎ）とは木の名まえです。また、「柞」という漢字を調べてみると“ははそ”とも読むようで、クヌギのようなブナ科の植物の別名ともありました。

このクヌギの木が、昔はこの地に多く生えていたと考えられています。

校章の中心には、柞小という文字。それを囲む太い線の円は銭形を表していたんですね。

クヌギの葉は、校章にあるように縁（ふち）がギザギザです。実は校内にも生えているので見つけて観察してみてください。